



上野南部 自治協だより

令和4年11月15日 第66号
発行 上野南部地区
住民自治協議会
編集 広報部会
<http://ueno-nanbu.com>



自治・環境部会

～ブロック別 早朝清掃奉仕～
(クリーン作戦)

10月 8日(土) 上野愛宕町・上野東日南町・上野西日南町 参加者55名
10月15日(土) 上野鉄砲町・上野万町 参加者70名



早朝から、たくさんのご参加ありがとうございました

上野南部地区戦没者慰霊祭

～上野南部自治会協議会主催～

令和4年度の上野南部地区戦没者慰霊祭が10月10日(月)午後2時から、上野恵美須町の山溪禅寺(長谷川真爾住職)にて執り行われました。

今年も新型コロナウイルス感染症対策の為、出席者を上野南部地区の自治会長、上野南部地区住民自治協議会長に限定し、伊賀市遺族会上野支部会長が追悼の辞を述べられ、戦没者の御霊への哀悼の意を表し、伊賀の発展と住み良いまちづくりに努力することを誓われました。

戦後77年、149柱の御霊に哀悼の誠を捧げ、ご遺族様10名の方が参列されました。

最後に伊賀市遺族会上野第3分会長が謝辞を述べられ、滞りなく終了しました。

私たちは、戦没者の皆さんの尊い犠牲の上に平和があることを忘れず、あの悲惨な戦禍を風化することなく語り継ぎ、二度と戦争を起こさない事を誓うと共に世界平和を願う日でした。



▶▶▶ 裏面に「上野南部地区の歴史と文化」寺院編を掲載しています

さん けい じ 山 溪 寺

- 神護山山溪寺
- 臨濟宗東福寺派
- 御本尊・釈迦如来

由来

開基は元和元（1615）年、藤堂高虎によるとされています。寺号は藤堂高虎によって下賜されたものです。

藤堂高虎の従兄弟である藤堂新七郎良勝をはじめ多くの藤堂家家臣が元和元（1615）年大坂夏の陣の時、豊臣方の抵抗に遭い、大阪・八尾で殉死。一族の供養として山溪寺が創建されました。藤堂新七郎良勝の遺骸は八尾の常光寺に祀られていますが、山溪寺に五輪塔があります。

また、初代良勝以降、幕末まで十代にわたる藤堂新七郎家一族の墓所であり、菩提寺でもあります。



藤堂新七郎良忠

三代藤堂新七郎良精の三男良忠は、武士に生まれながらも俳諧を嗜み京都の北村季吟に師事し、俳号は蝉吟（せんぎん）。大坂夏の陣から50年、戦いで命を落とした祖父（良勝）を偲んで詠んだ句に「大坂や 見ぬ世の夏の 五十年」があります。



しだれ桜

三門を入って右側にしだれ桜の木があります。毎年、春（四月上旬から中旬）になると淡い紅色の花が咲き訪れる人を魅了しています。

今のしだれ桜は、平成10（1998）年に台風で樹齢百年と言われた先代のしだれ桜が倒れてしまったため、そのあとに植えられたものです。



敬叟玄肅（けいそうげんしゅく）和尚大禅師

伊賀市北山の農家に生まれましたが、法縁があって小僧修行の後、東福寺で禅の奥儀をきわめ、天明3（1783）年伊賀に帰り山溪寺の第十世住職となりました。その頃、伊賀では飢饉が続き農民は重税に苦しめられていました。

人々を救おうと幕府への上訴の作成を和尚が手伝い、そのことを藩よりとがめられ、久米川の河原で処刑されました。42歳でした。

明治になり徳行が認められ名誉が復活。処刑地に供養塔が建立され、山溪地藏尊として祀られています。



所在地 伊賀市上野恵美須町1590

